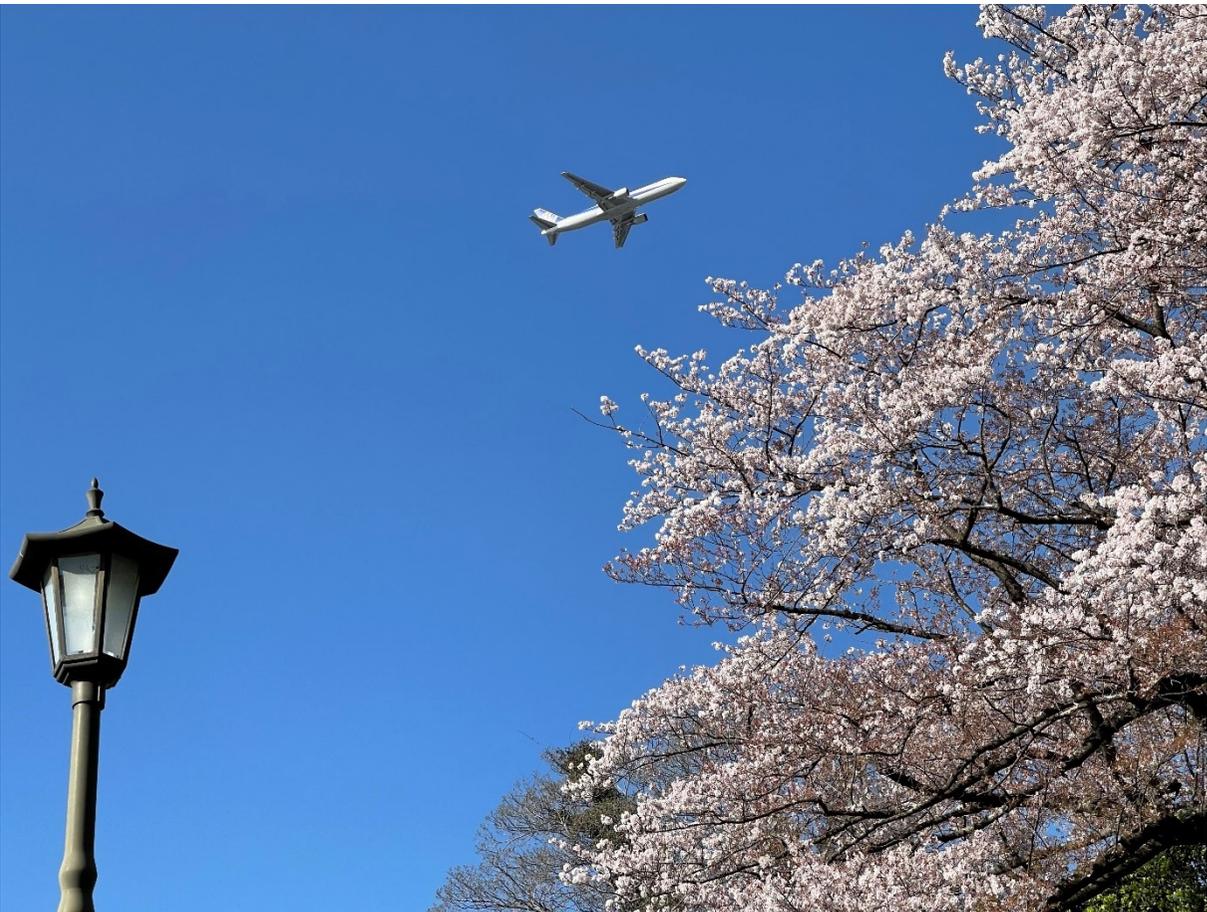


ふだ
あずま
みどころ
札欲しと 東をどりの 見所を
ぼたん^に聞けば 花ぞ我かし

令和四年四月八日

大中臣正比呂



毎年、初夏を待たず新橋芸者の「東をどり」が開かれる。
桜が散ったあとに待つ、牡丹の蕾みに見所を聞いてみよう。
「舞台の花は私よ、きつと来てね」と言うだろうなあ。